

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第3620677号
(P3620677)

(45) 発行日 平成17年2月16日(2005.2.16)

(24) 登録日 平成16年11月26日(2004.11.26)

(51) Int.Cl.⁷

A47H 1/142

F I

A47H 1/142

請求項の数 1 (全 5 頁)

(21) 出願番号	特願平8-162053	(73) 特許権者	000109923
(22) 出願日	平成8年6月21日(1996.6.21)		トーソー株式会社
(65) 公開番号	特開平10-5112		東京都中央区新川1丁目4番9号
(43) 公開日	平成10年1月13日(1998.1.13)	(74) 代理人	100073988
審査請求日	平成15年3月4日(2003.3.4)		弁理士 川上 肇
		(72) 発明者	藁谷 公夫
			東京都中央区新川1丁目4番9号 トーソ
			一株式会社社内
		審査官	長島 和子
		(56) 参考文献	登録実用新案第3022418(JP, U)
			登録実用新案第3014674(JP, U)
			最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 カーテンポール用ブラケット

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

壁面に固定されるベース(10)と、前記ベースに装着される本体(20)とからなり、前記本体は前記ベースに装着される台座(21)と、前記台座から斜め前上方に延長する腕(22)と、前記腕の先端においてカーテンポールを支える軸受(23)とを一体に有し、前記ベースは壁面に固定される後壁(11)と、前記後壁の両側から前方へ突出する左右の側壁(12)と、前記後壁の底から前方へ突出する底壁(13)と、それらの壁によって囲まれ上方及び前方が開口する嵌合部(14)とを有し、前記嵌合部の上下には両側壁に渡る上下突条(15、16)が一体に設けられ、前記台座は前記嵌合部にはまる形状を有し、前記台座の上下端部には前記上下突条に上から係合する上下フック(25、26)が一体に設けられ、前記台座には先端が前記後壁に達するボルト(27)がねじ込まれたことを特徴とするカーテンポール用ブラケット。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、壁面に固定する台座と、その台座から室内側へ斜め上方に延長する腕と、その腕の先端においてカーテンポールを支持する円筒形の軸受とからなるカーテンポール用ブラケットに関する。

【0002】

【従来の技術】

窓の上方の壁面又は窓の上枠に設置するカーテンポール用ブラケットは、カーテンポールからの光漏れを防ぐため、腕が斜め上方に延長する。このブラケットの壁面固定強度を確保するためには、ブラケットを壁面に固定する止めねじの中の少なくとも１本の止めねじがカーテンポールと同程度の高さになければならない。このために、従来は台座を上方へ延長して止めねじの位置をカーテンポールよりも高くするか、又は台座を広幅にしてカーテンポールと同程度の高さ位置に２本の止めねじを設けていた。

【０００３】

【発明が解決しようとする課題】

台座をカーテンポールよりも上へ延長すると、カーテンポールを天井近くに設置することができなくなり、台座を広幅にすると、ブラケットの外観が不良になるという問題があった。

10

本発明はこの問題を解決するためになされたものであり、その目的とするところは、台座から斜め上方に腕が延長するブラケットであって、台座を上方へ延長したり、広幅にしたりしなくてもブラケットの壁面固定強度を確保することができるようにすることにある。

【０００４】

【課題を解決するための手段】

前記目的を達成するため、本発明が採用する手段は、ブラケットを本体とベースの２体構造とし、ベースを壁面に固定し、そのベースに台座と腕と軸受とからなる本体を固定したことにある。

ベースは後面が壁面に接し、前面には、本体の台座がはまる嵌合部を有する。嵌合部はベースの後壁と底壁と、両側の側壁に囲まれて上方と前方に開口する。嵌合部の上下には両側壁に渡された上下突条が形成される。

20

【０００５】

本体の台座は嵌合部の両側壁と底壁にはまる形状であり、その上下両端部に上下突条に上から掛かる上下フックを有し、下フックの上にねじ孔があけられ、そのねじ孔に固定用ボルトが通る。

ベースは２本以上の止めねじで壁面に固定され、上の止めねじはカーテンポールと同程度の高さであるから、ブラケットの壁面固定強度は確保される。台座の上下フック部の深さは比較的浅く、その上下フック部をベースの上下突条に掛け、固定用ボルトをねじ込むと、本体はベースに強固に結合する。

30

【０００６】

【発明の実施の形態】

本発明の実施の形態を図１に示す縦断面図によって説明する。

ブラケットはベース１０と本体２０とからなり、ベース１０は止めねじ１８を介して窓枠に固定される。ベース１０は壁面に沿う後壁１１と、その両側から正面へ突出する側壁１２と、その底から突出する底壁１３を備え、それらの壁により上方と前方が解放された空間の嵌合部１４を形成する。後壁１１の上部前面から横断面Ｌ字形の上突条１５が突出して水平に延長し、その両側は側壁１２と合体する。底壁１３の上面から下突条１６が突出して水平に延長し、その両側は側壁１２と合体する。

【０００７】

40

本体２０はベース１０の嵌合部１４にはまる台座２１と、その台座から前方斜め上に延長する腕２２と、その腕の先端の円筒形の軸受２３とからなる。台座２１の後面の上端部には上フック２５が、下端部には下フック２６がそれぞれ一体に形成され、それぞれベース１０の上突条１５と下突条１６に上からはまる。

台座２１の下端部にねじ孔２４をあけ、そのねじ孔にボルト２７をねじ込む。ボルト２７の先端はベース１０の座面１７に当接し、台座２１は前方へ押されるから、上下突条１５、１６と上下フック２５、２６は強固に結合し、ベース１０と本体２０を一体化する。

【０００８】

上の止めねじ１８の高さはカーテンポールを支持する軸受２３と同程度であるから、ブラケットの壁面固定強度に不安はない。ベース１０の上面は軸受２３よりも低いから、カー

50

テンポールを天井近くに設置することができる。又、ベース１０の幅は広くないから外観は良好である。

【０００９】

【実施例】

本発明のブラケットを構成するベースと本体を図面に示す実施例に基づいて説明する。

図２及び図３に示すように、ベース１０の後壁１１は上下に３つの止めねじを通す固定用孔１９を有する。後壁１１の上突条１５のフック高さは５ｍｍであり、底壁１３の下突条１６のフック高さは３．５ｍｍであるから、ブラケットは天井まで５ｍｍの高さに設置することができる。上突条１５と下突条１６の前端位置は側壁１２の前端面より後方に位置する。後壁１１のボルトを受ける座面１７は、段状に凹む平坦面であり、下突条１６のすぐ上に位置する。後壁１１と左右の側壁１２と底壁１３はその間に上方と前方に開く直方体状空間である嵌合部１４を形成する。

10

【００１０】

図４及び図５に示すように、本体２０の台座２１は偏平なコ字形であり、その左右幅と高さはベースの嵌合部の左右幅と高さと同じである。台座２１の高さは腕２２の先端にある軸受２３の高さよりも低い。上フック２５と下フック２６は下に開く逆Ｕ字形であり、ベースの上突条と下突条は上からはまる。上下フック２５、２６を上下突条に固定するボルトのねじ孔２４は下フック２６のすぐ上に位置する。

【００１１】

【発明の効果】

20

上記のとおり、本発明のブラケットは、従来の一体ものとは異なり、壁面に固定するベースと、そのベースに一体に固定する本体とからなり、ベースの止めねじの少なくとも１つは軸受と同程度の高さに位置するから、ブラケットの壁面固定強度は確保され、ベースの上端は軸受の上端よりも低いので、カーテンポールを天井近くに設置することが可能であり、ベースの左右幅も狭いので外観も良好であるという優れた効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

【図１】は本発明の一実施例のブラケットの縦断面図、

【図２】は図１のベースの正面図、

【図３】は図１のベースの縦断面図、

【図４】は図１の本体の側面図、

30

【図５】は図１の本体の背面図、

【符号の説明】

１０：ベース

１１：後壁

１２：側壁

１３：底壁

１４：嵌合部

１５：上突条

１６：下突条

１７：座面

40

１８：止めねじ

１９：固定用孔

２０：本体

２１：台座

２２：腕

２３：軸受

２４：ねじ孔

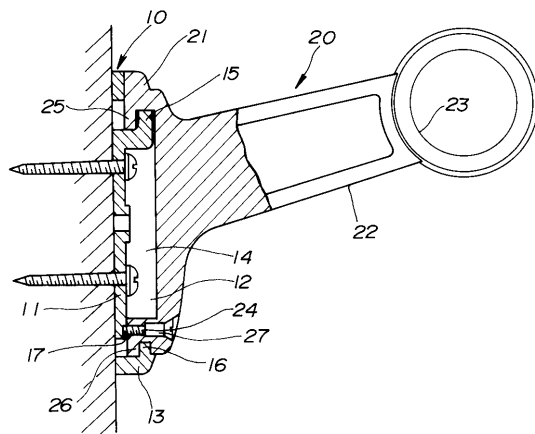
２５：上フック

２６：下フック

２７：ボルト

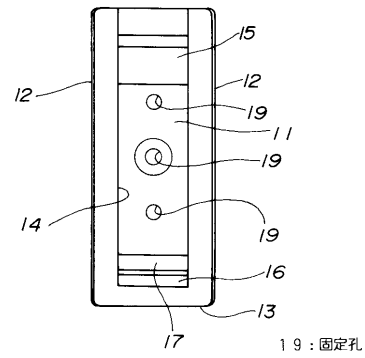
50

【図 1】



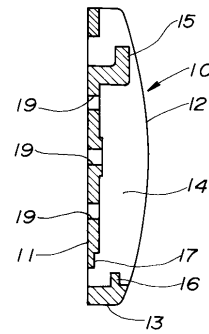
- | | |
|---------|----------|
| 10: ベース | 20: 本体 |
| 11: 後壁 | 21: 台座 |
| 12: 側壁 | 22: 腕 |
| 13: 底壁 | 23: 軸受 |
| 14: 嵌合部 | 24: ねじ孔 |
| 15: 上突条 | 25: 上フック |
| 16: 下突条 | 26: 下フック |
| 17: 座面 | 27: ボルト |

【図 2】

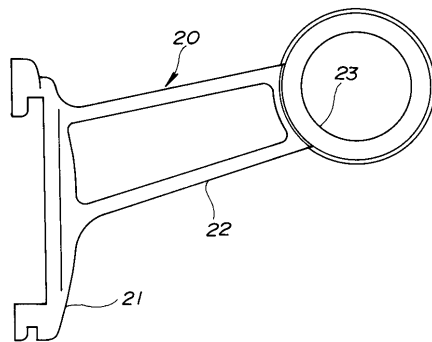


19: 固定孔

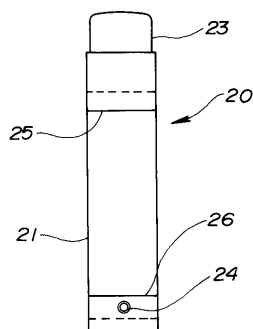
【図 3】



【図 4】



【図 5】



フロントページの続き

(58)調査した分野(Int.Cl.⁷, DB名)
A47H 1/00-23/14